サイエンス カフェ

Science Café



CAMFES NEWS vol.2

平成26年5月10日(土)15:00~17:00



サイエンス カフェとは?

本学のサイエンスカフェでは、先生1人に対して参加者複数人で、科学に関するテーマについて、お菓子を食べながら、お茶を飲みながら、気楽に楽しくお話しします。少人数(予約制)ですので、オープンキャンパスで行われている体験講義とは一味違った内容になっております。1人では緊張するなとお思いの方は、お友達をお誘いの上、ご来校ください。

獣医学科

質量で物質を鑑定-質量分析の話

片山 欣哉 准教授 時間:16:00~17:00 場所:B-416



人や動物の健康状態を知るために、体内の 代謝産物の変化を分析して病気かどうかを知ることはとても重要なことです。その方法の一つとして、1回の検査で多くの情報を得ることができる質量分析があります。あまり聞き慣れない分析法かもしれませんが、病気の診断、ドーピング検査、タンパク質解析など様々な場面で使われている技術です。この質量分析の原理から最先端の利用法まで、化学が苦手な人にもわかりやすくご紹介します!

獣医保健 看護学科

もっと光を!!

袴田 陽二 教授

時間:15:00~16:00 場所:B-415



昼間の太陽も夜中の蛍光灯も私たちの生活には欠かせないものです。でも、光はそれだけではありません。病気の診断検査や治療に利用される放射線あるいは紫外線も光の仲間です。細胞内の特定の分子挙動や体の中を動き回るがん細胞の移動をリアルタイムに観察する技術にも光が利用されています。光は私たちの生活を豊かにするためにとても役だっています。一緒に光のお話をしましょう。もっと光を!!さて、誰の言葉?

動物科学科

トキが育てたお米

桑原 考史 講師 時間:16:00~17:00 場所:B-414



新潟県佐渡市では、トキの野生復帰に合わせて環境保全型農業の取組みが進められています。トキは水田などのぬかるみで虫や水生生物を食べるため、野生下で生きていくためには、豊かな水田環境が不可欠です。豊かな水田環境の復元・保全・創造は、トキだけでなく、農業生産者や住民、そこで作られたお米を食べる消費者にとっても価値ある取組みです。取組みをより深めていくために必要な社会・経済のしくみを、一緒に考えてみませんか?

食品科学科

お茶の成分と機能

中山 勉 教授

時間:15:00~16:00 場所:B-413



世界中で一番飲まれている液体はもちろん水です。さらに、紅茶も含めたお茶、コーヒーと続きます。人類の歴史の中で多くの植物が飲料の素材として試され、カフェインを含むお茶とコーヒーが最後に残ったと考えられています。最近の研究では、お茶に含まれる成分としてポリフェノールの一種であるカテキン類の様々な生理機能も注目されています。これらの成分について、"お茶を飲みながら"お話ししたいと思います!

IME SCHEDULE

15:00		15:00	16:00		
受	B棟4Fエレヘジーターホール				
行	(全学科)				
相進談学	B-412	▼入試などの質問はこちら!			
	ニチジュウCafé	1500~17:00			
サイエンスカフェ	B-413	▼「お茶の成分と機能」			
	食品科学科	15:00~16:00			
	B-414		▼「トキが育てたお米」		
	動物科学科		16:00~17:00		
	B-415	▼「もっと光を!!」			
	獣医保健看護学科	15:00~16:00			
	B-416		▼質量で物質を鑑定−質量分析の話」	▼質量で物質を鑑定−質量分析の話」	
	獣医学科		16:00~17:00		

日本獣医生命科学大学

■詳細は日本獣医生命科学大学ホームページへ!

日本獣医生命科学大学

検索

http://www.nvlu.ac.jp/

獣医学部 ┃獣医学科 ┃獣医保健看護学科 応用生命科学部 ┃動物科学科 ┃食品科学科 お問い合わせ先

日本獣医生命科学大学 入試広報センター : 0422-31-4151

e-mail:kouhou@nvlu.ac.jp